

消防吏員救急活動服の製作仕様書

京都市消防局総務部施設課

(担当：藤・菱野 212-6649)

第1 総則

- 1 本仕様書は、京都市消防局（以下「当局」という。）が調達する消防吏員新型救急活動服（以下「救急服」という。）の仕様について定めるものであり、製作される救急服については、救急活動に適した機能と強度を有するものでなければならない。
- 2 この救急服に使用する材料及び付属品は、全般にわたって十分検査され、本仕様書のすべてを満足するものでなければならない。
- 3 この救急服は、寸法、形状等について本仕様書に定めるものであり、傷、むら、斑点、汚れ及びその他外観を損ねるものであってはならない。
- 4 本仕様書の細部については、すべて当局の承認又は指示を受けるものとし、本仕様書に明示されていない事項についても、それが縫製上当然必要な場合は、これを施行すること。

なお、縫製上のことで疑義が生じたときは、速やかに当局と協議すること。

- 5 上衣用生地は、別紙1の品名欄に示すものから選択し、落札業者は、契約後速やかに、染色後の生地見本（10cm四方以上。染色が必要な生地にあつては染色前、染色後いずれのものでも可とする。ただし、染色前の生地で確認を受けた場合にあっては、契約後、染色後の生地について、再度確認を行う。）、国内紡績メーカーによる品質証明及び出荷引受書並びに製作工程表（検収予定月日も明記すること。）を当局へ提出するとともに、承認を得ること。
- 6 ズボン用生地は、別紙1の品名欄に示すものまたは同等品を使用し、落札業者は、契約後速やかに、染色後の生地見本（10cm四方以上。染色が必要な生地にあつては染色前、染色後いずれのものでも可とする。ただし、染色前の生地で確認を受けた場合にあっては、契約後、染色後の生地について、再度確認を行う。）、国内紡績メーカーによる品質証明及び出荷引受書並びに製作工程表（検収予定月日も明記すること。）を当局へ提出するとともに、承認を得ること。

なお、同等品での納入を希望する場合は、同等品確認時に、生地見本（10cm四方以上。染色が必要な生地にあつては染色前、染色後いずれのものでも可とする。ただし、染色前の生地で同等品確認を受けた場合にあっては、契約後、染色後の生地について、再度同等品確認を行う。この際、同等品として認められないこととなった場合は、原則、契約解除となることに留意すること。）に加え、国内紡績メーカーによる品質証明及び出荷引受書又は国内公的機関の試験成績結果を証明する書類を当局へ提出すること。また、国内紡績メーカーの品質証明を提出する場合であっても、本仕様書の性能を満たしていることが判断できないときは、国内公的機関の試験成績結果を証明する書類を当局へ提出すること。

- 7 サイズについては、別紙2のとおりとし、適合しない者については、指定の場所へ採寸に行き調製すること。
- 8 製品は上衣とズボンをそれぞれ別の紙袋に入れ、表面に「救急活動服上衣」又は「救急活動服ズボン」、サイズを表示すること。（表示内容及び個数は、別途指示する。）

- 9 納入前に当局の指定した場所で検収を実施する。
- 10 納品後1年以内に、主材料生地に顕著な支障を生じ又は縫製上の欠陥を生じた場合にあっては、落札業者の責任において取り替え等必要な措置を講ずるものとする。
- 11 契約後、打合せを実施する。
- 12 請求書に購入物品ごとの単価及び数量を明記すること。

第2 調達数、履行期限及び納品場所

1 調達数

- (1) 上衣 90着
- (2) ズボン 90着

※ サイズ内訳は契約後に指示する。

2 履行期限

令和9年3月26日（金）

3 納品場所

京都市消防局本部庁舎

中京区押小路通河原町西入榎木町450-2

第3 型式

耐久性、吸水速乾性及び制菌性を有する生地を使用し、立体裁断縫製等の製法を脇、肩及び内股等に採用することで、活動性に優れるとともに、端正な姿を備える仕様とする。（別紙4参照）

1 上衣

立て襟、長袖型、左右胸にポケット（左側1個、右側2個）を有し、裾ドローコード付ファスナー仕立てのジャケット型とする。

2 ズボン

長ズボン型、後身及び前身にポケット各2個を有し、裾シングル仕立てとする。

第4 材料

- 1 芯地 接着芯
- 2 腰裏地 上質適性品
- 3 ファスナー YKKエフロンファスナー（表地及び配色生地同色、当局指定品）
- 4 前カン 上質適性品
- 5 縫糸 生地同系色

第5 縫製要領

- 1 各部の縫合わせは優良で、縫い代は十分であること。
- 2 縫目の目飛びは、縫糸はずれがないこと。
- 3 糸調子は良好で、縫目曲がり、縫縮みがないこと。
- 4 各部の縫目はあたりなく始末する。
- 5 裁断の型入れは、布目を通し、反取りを原則とする。
- 6 衿先の左右、ポケットの左右等のバランスが整っていること。

第6 縫製仕様

概要は以下のとおりとする。

1 上衣（別紙4参照）

(1) 襟

ア フルファスナー型の立て襟とし、接着芯を貼り付けて縫製する。

イ 襟の高さは端で6.5cm、中央で7.5cmとする。

ウ 襟の内側及び襟表裏の周囲約1.2cm幅の部分は、ズボン用生地を使用したトリミング配色を施す。

(2) 襟吊及びサイズ表示

ア 襟吊を襟付き中央に、はさみ縫い付けする。

イ サイズ表示を襟付き中央付近に、はさみ縫い付けする。

(3) 前併せ

ア 突合せ式のファスナータイプとし、ファスナーの上端は襟先までとし、外観上、ファスナーのムシが見えないように縫着する。

イ ファスナーについては、当局が指定するファスナーとする。

(4) 前身頃

バストラインで内側から外側にかけて斜め上の角度で切り替える。

(5) 胸ポケット

ア 両胸のバストライン切り替え線の下側にバストラインと並行して両玉縁式ファスナー式ポケットを設ける。

イ 左胸ポケット上部に4cm幅のペン差し込み口を設ける。

ウ 右胸ポケット上部に位置するバストライン切り替え線の上側に両胸ポケットに比べやや小ぶりの両玉縁式ファスナー式ポケットを設ける。

エ 各ポケットのサイズについては、別紙3を参照。

オ ア及びウのファスナーについては、内側に閉じることとし、共生地のスライダーカバーを装備する。

カ ア及びウの両玉縁口布については、ズボン用生地を使用したトリミング配色を施す。

(6) 階級章用台座

右胸上部ポケットの上部に、縦2.5cm×横4cmのモヘア面ファスナーB面（灰色）を縫い付ける。

(7) 左胸標識

ア 左胸ポケット上部に、当局が指定するデザイン（別紙5参照）を昇華プリントワッペンとして、縫い付ける。

イ アの下部に、所属章及び個人章用の台座として、縦2cm×横9cmのモヘア面ファスナーB面（灰色）を縫い付ける。

(8) 肩部及び背ヨーク

ア 肩部はパーツを切り替え、肩ヨークパーツを設定する。

イ 背ヨークパーツはズボン用生地を使用するとともに、V型で切り替え、左右はノ

ーフォーク仕様とし、アコーディオン型のマチを設定することで、肩の可動域を広げる立体的な縫製とする。

ウ 背ヨークパーツに、当局が指定するデザイン（別紙5 参照）を、容易に剥がれることのない良質な転写反射プリントでプリントを施す。

(9) 脇身頃

裾から袖口までパーツを切り替え、立体的な構造とすることで、腕の可動域を広げるとともに、活動時において服装の乱れが起こりにくい構造とする。

(10) ベンチレーション

通気性を良くし、脇下の蒸れを軽減するため、脇下部に合わせ布式のベンチレーションを設ける。

(11) 裾

調節可能なドロークコード付きとする。

(12) 袖

ア 上袖、中袖及び下袖の3 つパーツに分かれた構造とすることで、腕の可動域を広げる立体的な縫製とする。

イ 袖口は両玉縁式ファスナー開きとし、袖口の開き部分には三角マチ布（水かき）をカフス根本まで付ける。

ウ ファスナーは袖口側に閉じることとし、ファスナーを閉じた際、適度に袖口が閉まる構造とすること。

エ 袖口内側はズボン用生地を使用する。

(13) 肘部

ア 肘部をパーツで切り替えることで、肘の可動域を広げる立体的な縫製とする。

イ 補強を目的として、切り替えパーツは2 枚合わせとし、左右にミシンステッチをかけ、2 枚の生地を縫い止め、立体的な縫製とする。

(14) 片布、品質表示及び注意ラベル

当局が指定する箇所に、片布、品質表示及び取扱に係る注意ラベルを縫い付ける。

2 ズボン

(1) 前身頃

ア 左右各1 本の外向きタックを設ける。

イ 前立てには芯を接着し、前立て押え幅3. 5 c mとし、ファスナー付けとする。

ウ ファスナー上には前カンを取り付ける。

エ 前立て下部にはカン止めをする。

オ 天狗鼻を設け、上下端はカン止めを施す。

(2) 前（脇）ポケット

ア 左右腰部に各1 個のポケットを取り付け、ポケット口には0. 6 c m幅のステッチをかける。

イ ポケット口の上下端にはカン止めを施し、上下端カン止め間の寸法は1 6 c mとする。（切り替え斜式）

ウ 袋布はスレーキを使用し、底は2重縫いとする。

エ ポケットのサイズは、別紙3のとおりとする。

(3) 後ろ身頃

ア 臀部パーツは両腿サイドポケット下部辺りで切り替えること。

イ 腰部はパーツで切り替えることで、腰部の可動域を広げる立体的な縫製とすること。

ウ 腰パーツ下部から裾口までを強度のある片倒しステッチ縫製で切り替えるとともに、脚の可動域を広げる立体的な縫製とすること。

(4) 後ポケット

ア 後身左右腰部に各1個のアウトポケットを設ける。

イ 雨蓋なしとする。

ウ ポケットのサイズは、別紙3のとおりとする。

(5) 腰裏

滑り止め付きのスレーキを使用したマーベルトを腰裏周囲に縫い付ける。

(6) 脇及び内股の縫製

脇縫いは片倒しステッチ縫製によって強度を確保し、内股は割縫いとする。

(7) 尻合わせ及び内股

ア 尻合わせについては、片倒しステッチ縫製とすることで強度を確保する。

イ 開脚時の突っ張りを軽減させることを目的として、内股部分はバイアスパーツで三角形に切り替え、バイアス特性を活用した伸縮性のある設計とする。

(8) シック補強

天狗裏より内股、小股の交点までスレーキを取り付けるとともに、スレーキを使用した菱形のシック（あて布）を4箇所止めにて縫着する。

(9) ベルトループ

ア 50mm幅のナイロンベルトに対応できる、ホームベース型のベルトループを5本設ける。

イ 前の2本及び左右の2本のベルトループについては、出来上がり横幅が4cm、通し幅が6cm（縦寸法7.5cm）のものとする。

ウ 後ろの1本のベルトループについては、横幅が6cm、縦幅が6cmのものとする。

エ 強度確保を目的として、ベルトループ下部については、ダブルステッチとするとともに、下部左右端については、カン止め若しくは4回以上の返し縫を行うこと。

(10) シャーリング

ア 帯ベルトの両脇に、シャーリングを施す。

イ シャーリングによるウエストの伸びは、片側につき2～2.5cmとする。

(11) 裾口

裾口はフリー（かがり縫い）とし、裾上げテープをズボンの尻ポケットに同封する。

(12) 片布及び品質表示

当局が指定する箇所に、片布及び品質表示を縫い付ける。

上衣用生地

項目		性能	試験方法等
品名		<ul style="list-style-type: none"> ・東レ株式会社 KYO808 又は T2769 ・帝人フロンティア株式会社 T37800 	—
混紡率 (%)		(再生) ポリエステル 98～100% 導電性繊維 2%未満	JIS L 1030
番手	タテ	165～185 dtex	JIS L 1096
	ヨコ	80～100 dtex	
組織		平織	JIS L 1096 A 法
密度 (本/2.54 cm)	タテ	105 以上	JIS L 1096 A 法
	ヨコ	85 以上	
質量 (g/m ²)		125 以上 160 以下	JIS L 1096 A 法
色相	本体用生地 (薄い灰色)	本市指定色 (繊維の色は均一であること)	—
	配色用生地 (濃い灰色)	ズボン用生地と同一とする。	
引張強さ (N)	タテ	1000 以上	JIS L 1096 A 法 ラベルドストリップ法
	ヨコ	300 以上	
寸法変化率 (%)	タテ	±3 以下	JIS L 1096 D 法
	ヨコ	±3 以下	
染色堅牢度 (級)	洗濯	4 以上	JIS L 0844 A-2 法
	摩擦 (乾)	4 以上	JIS L 0849 II 型
	汗	4 以上	JIS L 0848
	耐光	3 以上	JIS L 0842 第 3 露光法
ピリング (級)		4 以上	JIS L 1076 A 法
抗菌性		黄色ぶどう球菌、肺炎かん菌、MRSA に対して、 50 回洗濯後の抗菌活性値が 2.2 以上であること。 (SEK 赤ラベル (制菌加工) 相当)	JIS L 1092 菌液吸収法
伸長率 (%)		5 以上	JIS L 1096 B 法

ズボン用生地

項目		性能	試験方法等
品名の例示		・日本毛織株式会社 E O 9 0 9 S T	—
混紡率 (%)		ウール 10～35% (再生) ポリエステル 65～90% 導電性繊維 2%未満	JIS L 1030
番手	タテ	160～360dtex	JIS L 1096
	ヨコ	160～360dtex	
組織		平織	JIS L 1096 A 法
密度 (本/10 cm)	タテ	185 以上	JIS L 1096 A 法
	ヨコ	185 以上	
質量 (g/m ²)		160 以上 220 以下	JIS L 1096 A 法
色相	本体用生地 (濃い灰色)	本市指定色 (繊維の色は均一であること)	—
引張強さ (N)	タテ	650 以上	JIS L 1096 A 法 ラベルドストリップ法
	ヨコ	550 以上	
寸法変化率 (%)	タテ	±2.5 以下	JIS L 1096 C 法または D 法
	ヨコ	±2.5 以下	
染色堅牢度 (級)	洗濯	4 以上	JIS L 0844 A-1 法 または A-2 法
	摩擦 (乾)	4 以上	JIS L 0849 II 型
	汗	4 以上	JIS L 0848
	耐光	3 以上	JIS L 0842 別法 40h 照射 または第 3 露光法
ピリング (級)		4 以上	JIS L 1076 A 法
吸水速度		12 秒以内	JIS L 1907 滴下法
抗菌性		黄色ぶどう球菌、肺炎かん菌、MRSA に対して、 50 回洗濯後の抗菌活性値が 2.2 以上であること。 (SEK 赤ラベル (制菌加工) 相当)	JIS L 1092 菌液吸収法
伸長率 (%)		5 以上	JIS L 1096 B 法

新型救急活動服サイズ適応表

別紙 2

1 上衣 (基準サイズ)

(単位：c m)

サイズ	着丈	肩幅	バスト	中胴	裾巾	袖丈
A S S	7 2	4 3	1 0 0	8 6	1 0 0	5 3
A S	7 2	4 4	1 0 5	9 1	1 0 3	5 4
A M	7 5	4 6	1 1 0	9 6	1 0 7	5 6
A L	7 8	4 8	1 1 5	1 0 1	1 1 2	5 8
A L L	8 1	4 9	1 1 9	1 0 5	1 1 6	6 0
A 3 L	8 4	5 1	1 2 3	1 0 9	1 2 0	6 3
B L L	8 1	5 3	1 2 9	1 2 0	1 3 3	5 9
B 3 L	8 4	5 6	1 3 3	1 2 6	1 3 8	6 1

2 ズボン (基準サイズ)

(単位：c m)

Size	ウエスト	渡り	股上	股下 (※)	袖口
A 7 3	7 3	3 4 . 5	2 6	8 4	2 1 . 5
A 7 6	7 6	3 6	2 6 . 5		2 1 . 5
A 7 9	7 9	3 6	2 7		2 2
A 8 2	8 2	3 7	2 7 . 5		2 2
A 8 5	8 5	3 8	2 7 . 5		2 2 . 5
A 8 8	8 8	3 9	2 8	8 8	2 2 . 5
B 9 1	9 1	4 0	2 8		2 3 . 5
B 9 4	9 4	4 0 . 5	2 8		2 3 . 5
B 1 0 0	1 0 0	4 1	2 9		2 4 . 5
B 1 0 6	1 0 6	4 2	2 9		2 4 . 5
B 1 1 0	1 1 0	4 3	3 0		2 5 . 5

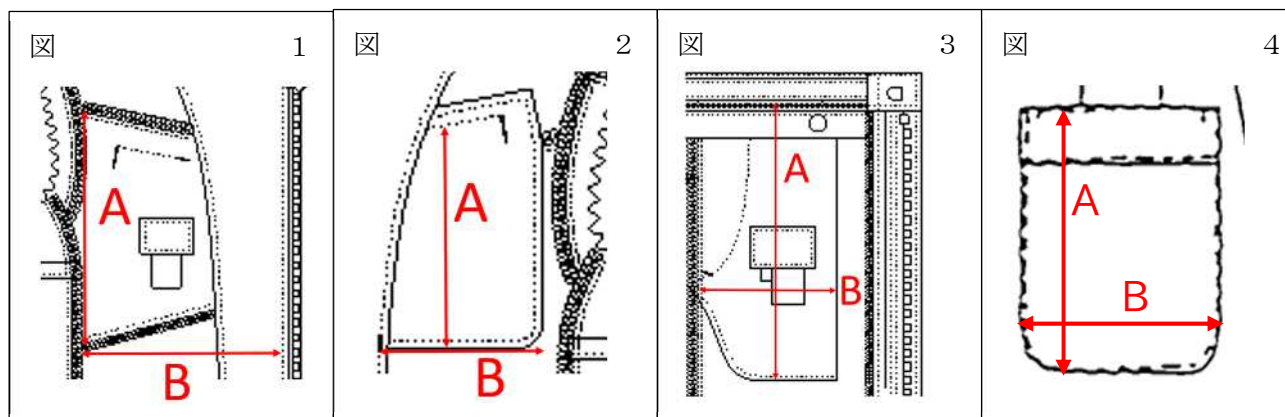
3 女性向けズボン (基準サイズ)

(単位：c m)

サイズ	ウエスト	渡り	股上	股下 (※)	裾口	ヒップ
W 7 3	7 3	3 6 . 5	2 6	8 8	2 1 . 5	1 0 6 . 5
W 7 6	7 6	3 8	2 6 . 5		2 1 . 5	1 1 0 . 5
W 7 9	7 9	3 8	2 7		2 2	1 1 4 . 0
W 8 2	8 2	3 9	2 7 . 5		2 2	1 1 7 . 0
W 8 5	8 5	4 0	2 7 . 5		2 2 . 5	1 2 0 . 0
W 8 8	8 8	4 1	2 8		2 2 . 5	1 2 3 . 5

※股下は指定の長さ以上とし、裾上げテープを同梱する。

		上衣全サイズ
図1 左右胸ポケット	A (タテ)	235～275mmの範囲内とし、サイズに応じて最適なサイズとすること。
	B (ヨコ)	170～230mmの範囲内とし、サイズに応じて最適なサイズとすること。
		ただし、ポケット内にタテ160mm×ヨコ80mm×厚さ12mmの物品を入れた状態でファスナーを閉鎖できるサイズとすること。
図2 右上胸ポケット	A (タテ)	150mm
	B (ヨコ)	110mm
		ズボン全サイズ
図3 前(脇)ポケット	A (タテ)	285mm
	B (ヨコ)	175mm
図4 後アウトポケット	A (タテ)	180mm
	B (ヨコ)	175mm



【上衣】



【ズボン】



【左胸標識】



【背ヨークデザイン】



※文字は白色の転写反射プリントとすること。

※背景の濃い灰色は布のイメージであり、プリントには含まれない。